## 【小施策評価(平成29年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

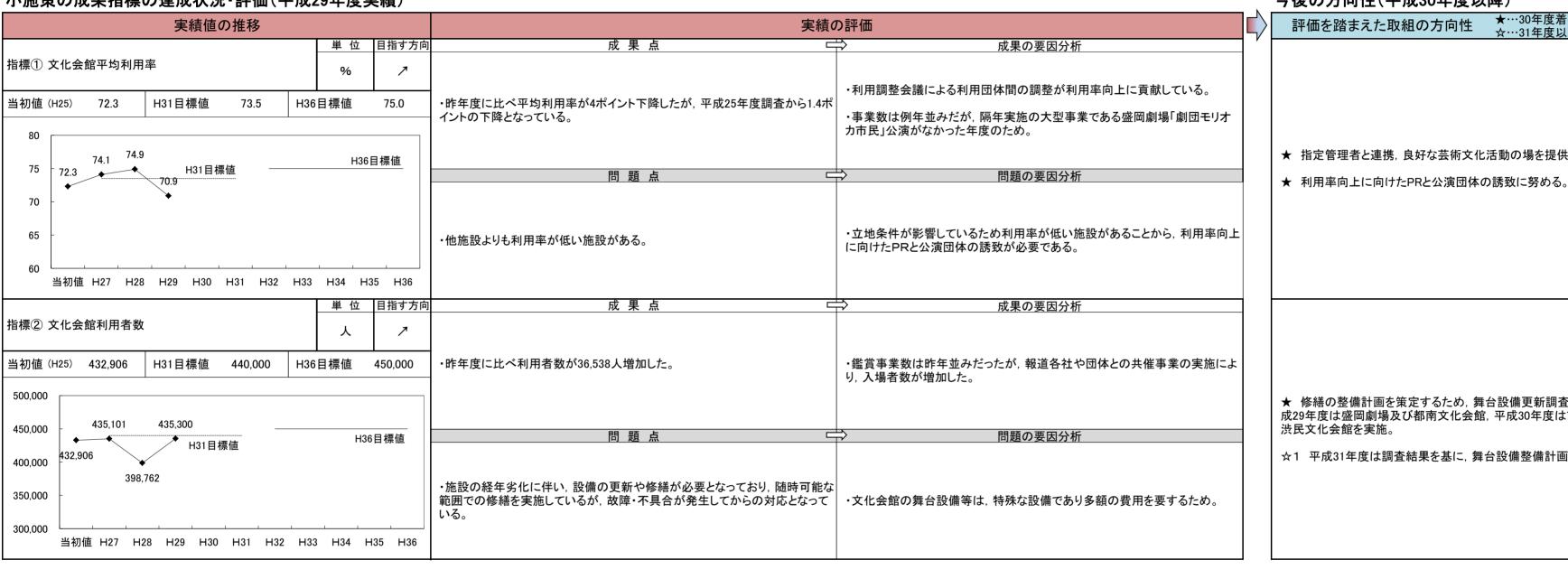
文化国際室 主管課等 2 盛岡の魅力あふれるまちづくり 施策 佐藤 篤 12 芸術文化の振興 内線 2110 責任者 小施策 12-2 文化施設の整備と活用 山内 真澄 内線 2111

作成者

## 小施策の概要

	現状と課題(総合計画実施計画から転記) □	L 取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
0	・文化会館は各施設とも建設から15年以上経過しており、設備も老朽化してきていることから、安全・快適で機能的な活動環境の提供に当たっては、適正な管理運営と計画的な施設設備の修繕や更新に努める必要がある。また、寄贈を受けた多数の市所蔵美術品の管理や有効活用を図る必要がある。 ・芸術文化活動の振興は、長期的かつ継続的な視点に立った展開が求められることから、目標に向けて計画的に事業を展開する必要がある。	文化施設利用者へのサービス向上のため、計画的に設備の更新、修繕を実施する。また、市民の自主的・創造的な芸術文化活動が活発に行われるように、文化施設の活用を図る。
	対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
1	芸術文化施設	芸術文化活動の場として、より活用が促される。

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)



## 今後の方向性(平成30年度以降)

★…30年度着手済または着手予定 ☆…31年度以降の着手を検討

- ★ 指定管理者と連携,良好な芸術文化活動の場を提供する。

- ★ 修繕の整備計画を策定するため、舞台設備更新調査業務委託を実施。平 成29年度は盛岡劇場及び都南文化会館,平成30年度は市民文化ホール及び
- ☆1 平成31年度は調査結果を基に, 舞台設備整備計画を策定。